



消費者担当大臣賞



表彰式で、吉川 起(たける)内閣府大臣政務官(写真右)から表彰状を受け取る土屋 敬夫コープデリ連合会理事長

コープデリの「食の安全と学び」がキッズデザイン賞 消費者担当大臣賞を受賞しました!

子どもたちに、食の安全や食べることの大切さを伝えたい。こうした想いから、コープデリ商品検査センターや小学校・公民館などで、子どもたちに食育プログラムを実施しています。この活動が評価され、第14回キッズデザイン賞で全受賞作品237点の中から、優秀賞である「消費者担当大臣賞」を受賞しました。

■受賞作品名 コープデリ商品検査センターと地域で進める食の安全と学び ■受賞部門 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン 消費者育成部門

コーププラス X SDGs

① コープデリ商品検査センターでの食育プログラム

コープデリグループでは「食の安全」のためのさまざまな取り組みを進めています。食べ物が口に入るまで“安全”であるためには家庭での手洗いや食材の温度管理なども重要です。コープデリ商品検査センターでは、2018年のリニューアルを機にコミュニケーション機能を強化、科学的知見を基にした食育プログラムを実施しています。学習+実験を通じて、食の安全を自分のこととして捉えることができます。



厳しい検査をして食の安全を守ってくれていることが伝わりました

検査室見学

実際の検査の様子を見学することができます。「食品安全クイズ」にチャレンジしながら、食の安全情報や家庭での食品保存のポイントなどを楽しく体験します。

手洗いチェック

汚れに見立てた蛍光ローションを手に塗り、その後ハンドソープで普段通り手洗い。その手をブラックライトにかざすと……洗い流せなかったローションが光り、洗い残しわかります!



ちゃんと洗えていると思っていたの!? エヘッ、全然ダメだ〜!

おいしい食べられる? キッチン実験



レモンの酸で食品にどんな変化が起こるのか、牛乳・すりおろしたりんご・ハーブティーを使って、それぞれの働きを実験と調理を通して体験しました。

コープデリ商品検査センターのホームページはこちらから

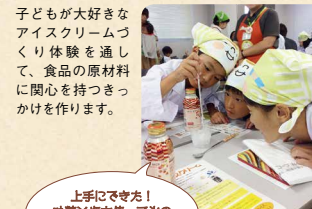


② 組合員活動による地域対応型の食育プログラム ※一部の都県で実施しています



組合員自身が食育活動の担い手となり、小学校の総合学習や放課後教室、公民館などで、食育教室・出前授業を行っています。内部研修を修了した組合員の食育サポーター・活動サポーターや、地域活動を担う組合員のブロック委員が講師役となり、自治体・地域の教育機関と連携して、食育プログラムを実施しています。

アイスクリームづくり



上手にできた! 砂糖と塩を使って氷の温度変化を確認しました

もったいないを考えよう

先進国やアフリカなどに食料を分配するゲームで世界の食料の不公平さを学びます。日本では多くの食品ロスを出しており、自分に何ができるかをグループで考えます。

野菜の花がわかって、誰しかなかったけれど楽しかった!



野菜の花あてクイズ

花を見て何の野菜か当てるゲームで野菜のことを学びます。「いつも食べているもの」に関心を持つきっかけとなります。

その他のプログラム例

- 早寝・早起き・朝ごはん 成長期に必要な睡眠と朝ごはんの大切さを考える
- 献立ゲーム バランスの良い食生活を知る など

これからも取り組みを進めます

新型コロナウイルス感染拡大により、2020年度の食育プログラムは中止を余儀なくされました。しかし家庭でも楽しめる学習プログラムを商品検査センターのホームページで配信するなど新たな取り組みを進め、一部では感染症対策を講じながら再開しています。「食」は私たちが生きていくために欠かせない大切な営み。私たちは、これからも事業と活動を通して、食卓と地域を豊かにする取り組みを進めます。

コープデリグループは、事業と活動を通して「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成を目指しています。



今回の取り組みは、目標11:

住み続けられるまちづくりを

につながっています。

